

改革工程表2(年度別実行計画)

団体(会計)名及び部局・課名	公益財団法人 茨城県看護教育財団	保健福祉部医療局医療人材課
改革遂行責任者	理事長	保健福祉部長, 医療人材課長, 総務部長, 出資団体指導監

改革方針	平成27年度	平成28年度	平成29年度
【1 財団のあり方の検討】 ○アクションプランに基づく運営改善 ○財団のあり方検討会の実施 ○アクションプランの評価検証 と新プランの策定(平成29～33年度) ※旧アクションプランの対象期間 (平成24～28年度) ○新たな公益的事業の実施	旧アクションプラン(5カ年計画)の実施(H24～28年度)		新アクションプラン(5カ年計画)の実施(H29～33年度)
	【学習サポート体制の充実】 (1年生から国家試験対策のためのガイダンス実施) 新卒者の合格率 94.4%	財団のあり方検討会 ・中長期的あり方の方針提示 ・旧アクションプランの評価 ・新アクションプランの策定 【今後5年間のあり方, 資質の高い看護職員の供給と定着, 自立的・安定的な運営実現のための方策を検討し, 新アクションプランを策定】	
	再就業支援事業の実施 【講義研修 5日間×2回 参加25名】 【実務研修 5～10日間×6病院 参加 5】	地域看護職員向けの研修の実施 【177名参加】	地域看護職員向けの研修の実施(70名以上の参加) 【122名参加】
【2 学生定員の確保】 ○学生募集活動の強化 ・学校訪問の強化 ・市広報紙の活用強化, ホームページ充実, オープンキャンパスの充実等積極的なPR ・推薦入学制度の見直し ・社会人, 大学・短大卒業者の入学推進 ・県立看護専門学校(中央看専, つくば看専)との併願制の見直し ・校章の活用, ポスター, パンフレットの改善など学校イメージアップの取組 ・インターネットを活用(インドアビュー)した学校紹介	アクションプランに基づく入学定員の安定的確保策強化(H24～28年度)		アクションプランに基づく入学定員の安定的確保策強化(H29～33年度)
	【38名入学】	【41名入学】	【40名入学】

改革方針	平成27年度	平成28年度	平成29年度
【3 財政状況の安定, 自主財源比率の向上】 ○安定的な収入の確保 ・事業の効率化による需用費の縮減	自主財源率70%を維持 [自主財源率82.2%] 需用費の抑制(平成23年度実績以下) [H27年度実績: 5,820千円] <H23年度実績: 6,836千円> [H23年度比14.9%減]	自主財源率77.7% [自主財源率77.7%] 需用費の抑制(平成23年度実績以下) [H28年度実績: 7,393千円] <H23年度実績: 6,836千円> [H23年度比8.1%増]	<新アクションプランに基づき新たな目標を設定> 自主財源率75%を維持 [自主財源率80.3%] 需用費の抑制(平成28年度実績以下) [H29年度実績: 5,741千円] <H28年度実績: 7,393千円> [H28年度比22.3%減]
【4 看護教員の確保】 ○専任教員の増員 ・きめの細かい教育の実現 ○資質の高い看護師の養成 ・看護師国家試験合格率	当該年度の県平均以上を維持 [合格率90.2% (県平均89.9%)]	当該年度の県平均以上を維持 [合格率88.6% (県平均88.5%)]	当該年度の県平均以上を維持 [合格率91.9% (県平均90.1%)]
【5 施設設備の老朽化対策】 施設設備の適切な管理と計画的な修繕の実施	施設設備の点検と計画的修繕 [2階教室建具修繕] [玄関庇雨漏り修繕工事] [体育館放送設備修理] [水回り修繕工事]	施設設備の点検と計画的修繕 [アルミサッシ改修工事] [職員室照明器具更新工事] [教室Cブラインド修繕工事] [玄関・学生ホールランプ交換]	施設設備の点検と計画的修繕 [アルミサッシ改修工事]
【6 進行管理の公表】 県議会への報告とホームページによる公表	毎年度の進行管理の結果を県議会に報告するとともに、ホームページ等で公表 [H27.6月 県議会報告] [H27.6月 県ホ-ムペ-ジ公表]	毎年度の進行管理の結果を県議会に報告するとともに、ホームページ等で公表 [H28.6月 県議会報告] [H28.6月 県ホ-ムペ-ジ公表]	毎年度の進行管理の結果を県議会に報告するとともに、ホームページ等で公表 [H29.6月 県議会報告] [H29.6月 県ホ-ムペ-ジ公表]

※注 ⇔ は改革期間及び推進事項を表示

改革工程表2(年度別実行計画)

団体(会計)名及び部局・課名	公益財団法人 茨城県看護教育財団	保健福祉部医療局医療人材課
改革遂行責任者	理事長	保健福祉部長, 医療人材課長, 総務部長, 出資団体指導監

改革方針	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
【1 財団のあり方の検討】 ○アクションプランに基づく運営改善 ○アクションプランの評価検証と新プランの策定(平成34~38年度) ○公益的事業の実施	アクションプラン(5カ年計画)の実施(H29~33年度)			
				・現行アクションプランの評価 ・新アクションプランの策定
	地域看護職員向けの研修の実施(70名以上の参加)			
【2 学生定員の確保】 ○学生募集活動の強化 ・学校訪問の強化 ・市広報紙の活用強化, ホームページ充実, オープンキャンパスの充実等積極的なPR ・校章の活用, ポスター, パンフレットの改善など学校イメージアップの取組 ・インターネットを活用(インドアビュー)した学校紹介	アクションプランに基づく入学定員の安定的確保策強化(H29~33年度)			
【3 財政状況の安定, 自主財源比率の向上】 ○安定的な収入の確保 ・事業の効率化による需用費の縮減	自主財源率75%を維持			
	需用費の抑制(平成28年度実績以下)			
【4 看護教員の確保】 ○専任教員の確保 ・きめの細かい教育の実現 ○資質の高い看護師の養成 ・看護師国家試験合格率(新卒者)	当該年度の県平均以上を維持			

改革方針	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
【5 施設設備の老朽化対策】 施設設備の適切な管理と計画的な修繕の実施	⇔ 施設設備の点検と計画的な修繕			
【6 進行管理の公表】 県議会への報告とホームページによる公表	⇔ 毎年度の進行管理の結果を県議会に報告するとともに、ホームページ等で公表			

※注 ◆-- [] は対応時期(◆)が明確な事項を表示、 ⇔ は改革期間及び推進事項を表示